

機関紙 たいとう に  
皆様の記事をお寄せ下さい!

採用された方に  
500円分クオカードを  
プレゼントします。

# たいとう

東京土建一般労働組合  
台東支部  
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2  
Tel:03-3876-1966 Fax:03-3875-5965  
Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp  
HP:http://doken-taito.jp  
編集 杉本 郁代

## 親子木工教室でイスづくり体験

### さわやかな秋晴れのもとでの開催



親子でイスづくりに挑戦した来場者

10月16日支部会館の3階とその隣の弁天公園において、第45回住宅デーを開催しました。例年同様開始の10時より前から包丁研ぎの受付に来場者が並び、好調な滑り出しかと思いきや、その後はなかなか人が集まりません。地元幼稚園の運動会や地区の行事と重なったようで、どうなるかとハラハラ。しかし親子連れが数組来場し、また包丁研ぎにも受付待ちの列ができ、活気が出てきました。会場内の中央にでんと停まった起震車に子供たちは興味津々です。体験後

泣かずに降りてくる子に、見守る大人が思わず拍手する微笑ましい光景も見られました。支部の3階の親子木工教室とアクセサリー作りにも足を運んでもらおうと、それぞれの作品を受付に並べアピール。木工のイースは大人の目もひきつけ、「完成品を買えませんか」と聞かれ「つくる体験を親子でしてほしいので」と書記局が木工教室の主旨説明に四苦八苦する場面もありました。とはいえ色々訊かれるのは、建設の組合としてうれしいことです。コロナゲー

ムと射的は子供も大人も楽しんでおり、網戸張替の依頼や住宅相談でも、担当した役員の丁寧な対応が印象的でした。今回初めて本日よりマスコットキャラクターの「どけんたろう君」が来てくれました。その愛らしさにみんな魅了され、楽しいひと時を過ごしてもらえたようです。来年もぜひお願いしたいところです。また、要員として参加協力いただいた組合員と家族の皆さんも大層見て健康チェックをし、血圧と握力測



どけんたろう君と握手

定に一喜一憂、良い機会だったようです。当初の天気予報では雨の不安もありましたが、途中から晴天となり無事に終了しました。要員・来場者数83組、住宅相談4件、包丁研ぎ61丁でした。来年もみんなで楽しめる住宅デーにしましょう。松が谷分会 I・S

## 安全と健康に配慮した

### 現場づくりを目指します

10月1日から10月7日は毎年「全国労働衛生週間」になっています。この期間中である10月6日に、台東区内の現場訪問行動を2班3人ずつに分かれて実施しました。私は労働対策部長と書記長と一緒に回りました。最初は公共工事の浅草橋にある育英小学校・幼稚園の体育館解体・校舎の改築工事現場です。解体はほぼ終わっており、校舎の改築も同時進行で行われています。コロナ対策も含めて検温・消毒設備はしっかり

りとしていました。作業員の体調管理についても現場のルールとして周知されているようです。現場内を見渡しても、みなマスク着用しています。現在までコロナ陽性者の報告はないとの事で、さらなる安全配慮をお願いしてきました。以降は民間工事現場へのアポなし突撃訪問です。4件回りました。があいにくの雨にもかかわらず、現場前や現場内での懇談に気持ちよく対応してもらえました。訪問行動の主旨

説明を行い、労働組合として現場の就労環境の向上や賃金に関する申入れをしました。今回訪問した先の現場監督や担当者は相対的に若い人が多く、正直外に感じました。建設業界に若い人が多く入ってきていること、作業員も含めて増えることを願



雨の中対応してくれました

分会名	目標	成果	達成率
清川	8	4	50%
浅草中央	3	2	66%
下谷	2	0	0%
谷中	2	1	50%
松が谷	5	3	60%
上野浅草橋	4	3	75%
直属・事業所	28	19	68%
<b>合計</b>	<b>52</b>	<b>34</b>	<b>65%</b>
青年部	4	4	100%
ライトシルバー	12	5	42%
女性の会	4	1	25%

## 秋の拡大月間最終結果

### 木洩れ日



テレビでやっている焼酎のCMの登場人物のように、私もかなりのアナログ人間だ。早い話、パソコン・携帯・カメラ・ゲーム機などなどデジタル的なものに興味がない。覚えれば便利だしやってみればいいのだというのも解ってはいない。逆に使わないからトラブルに巻き込まれず、スマホ首や肩こりで悩むこともない。

もともと子供のころから文字が好きで、家に読む本がないと辞書を読んだり、音読で声の抑揚を楽しんだり、友達と物語を書いて見せ合う小説ごっこをしたりしていた。今も電話は少々苦手だ。お礼を言うにもお知らせをするにも手紙・葉書・ファックスの方がよいので、その辺はまめな人間である。

と、ここまでつぶやいていると、デジタルなものを始めない言い訳を並べてている気がしてきた。そのうち必要に迫られて重い腰を上げる時が来るかもしれないが、私はいまの生き方の方をできる限り大事にしたい。

# 私の大切なもの ～分会リレートーク～

第4回目は谷中分会の山田さんです。青春篇を寄稿いただきました。

「大切なものは移ろいやすく 青春篇」

人も世も移ろいやすく大切な事も自慢も日々移り行く、幼い頃は両親や兄弟が一番大切に感じ、始めて保育園に預けられたときは、去って行く母を見て僕は捨てられると思ひ大泣きしたのを、昨日のように覚えてる。

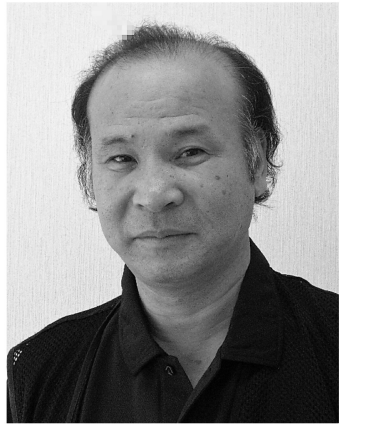
小学校では友達を百人作ると親に言い、頑張りなさいと笑われ、中学の初恋は敢え無く

撃沈、高校では新規挽回と友人に恋愛に与気合を入れるも気合入れの日々。そんな時に学内で将棋大会が執り行われる事になり優勝だとして参加

70名でのトーナメント戦で将棋部の面々に勝ち抜き、まさかの優勝。顧問に強制的に将棋部に入部させられる。冬休みは合宿に強制参加、将棋を朝から晩まで対局、流石に疲れ切り息抜きにと麻雀大会に。ところが相手がへぼ過ぎて八回連続のトップ、先輩にお前

一体何者だと問われ、只の遊び人ですと返事

をすると、お前何時勉強するのだとお説教。我々将棋部は学業もトップクラスじゃなければ駄目だとのたまう、そんな殺生な、そんな暇有りませんと言ひ返す。その時仇名が付けられ博打打ちだから、競馬になぞらえてヤクザシンボリに。その時の同期と先輩との付き合い



谷中分会の山田さん

は今も続き、会えば将棋に麻雀です。卒業後一年は自分の道を探すべく、将棋道場を酔生夢死の如くフ

ラフラ。そんな時、将棋は四段・麻雀はセミプロ並みと何をやっても叶わない人と出会い、お供で上野界隈の雀荘に大人に混ざり連日の徹夜麻雀。勝つ事に拘るが、毎回勝ちに行くお前は幼過ぎる、次に続く負け方を考え覚えろ、攻めてばかりではいつか痛い目に会うぞ

と。この言葉は今も実践できずにいます（負けてばかり）18歳の私には心に染みる大切な教えでした。年齢の節々で親や友人友人知人と話し聞いてきた言葉は、私の中でお守りとなり今自分を支えてくれてます。話し合う事の大切さを今問い、決して恨

## 若手が建設業界にしたい

三年ぶりとなる大手企業交渉に参加してきました。実際はコロナ禍の中でも交渉は続けていきましたが人数を絞って本部役員のみ対応だったため、支部の組合員との参加は久しぶりとなります。以前は東京土建以外の各組合からもたくさん参加がありましたが、そこまでの人数に戻せてはいません。これから徐々に以前のよう大掛かりな交渉に戻していければと思います。

みや呪いの言葉にならない様に祈りたいものです。

石綿関連の資格取得は東京土建で  
東京土建台東支部 03-3876-1966

## 車窓から

知人の経営する旅行会社主催の第2回「山手線ぐるっと健康ウォーキング」に参加しました。10月2日9時30分に新大久保駅に集合、原宿駅に向けて出発しました。最初に立ち寄ったのが西新宿の住友ビル平和祈念展示資料館でした。入館無料にもかかわらず、これほどしつかりとした資料館があることは知りませんでした。国外からの戦後の引揚者のことをもつと詳しく知りました。新宿駅南口前で記念

写真を撮り、サザンテラスから代々木駅に進み、明治神宮北参道から内拝殿へと向かいまはあったけれど、夫婦楠(めおとくすのき)をしげしげと見学したのは初めてでした。神宮の森の中を進んでいくのは、まるで山の中を歩いているような気分でした。一の鳥居も新築されていました。昼食は少し遅い時間になりましたが、北京烤鴨店原宿店で食べ放題を体験しました。会費に含まれていた飲物は生ビール1杯だけで、それ以上は自己負担でした。歩いてのども乾いていたため、もつと



明治神宮を散策しました

飲みたいところでした。1回目は参加できまが我慢しましたが、次回くりと昼食を楽しんだ後は竹下通りに向かいましたが、若者ばかりでした。一行は何とか迷子にならずにすみ、原宿駅の竹下口で記念撮影後に解散しました。このツアーは最終的に山手線全駅で写真を撮り、支給されたアルバムに記録を残せる計画です。残念ながら

インボイス制度の導入を来年2023年10月に控え、支部事務所への問合せが増えていきます。台東支部では8月、9月、10月に4回の学習会を開き、のべ31人が参加しました。この制度は「適格請求書等保存方式」とも呼ばれ、①税務署から登録番号を交付された事業者のみがこの適格請求書を発行できる②登録は消費税の課税業者でない③「適格」と認められない④「適格」と認められなかった請求書は、取引相手の事業者が外

## 問題大いなり、インボイス制度

注費として仕入税額控除ができない④消費税免税だった事業者も課税業者として登録番号を取得し、その番号を掲載した請求書を求められる、のです。登録番号取得は消費税課税業者となり、免税事業者だった人たちにとつては大きな負担となります。仮に年間売上400万円(簡易課税みなし仕入れ率60%)、消費税16万円を納める必要が出てきます。事務作業や帳簿つけも煩雑になり負担は増すばかりです。これを機に



9月の学習会の様子

くると、建設業の個人事業主や一人親方だけでなく、個人タクシーや生命保険の外交員、ヤクルトレディーやシルバー人材センターも得をしない制度です。しかし、今ならまだインボイス制度を止められる可能性も残っています。物価の上昇や円安、コロナ不況など、日本経済が疲弊しているところへの導入は愚策でしょうか。軽減税率減税を求め、軽減税率制度を撤廃させる運動で、インボイス制度を廃止させましょう。

寺山 邦裕